旅団演習準備 副旅団長交代 募集広報の日 人事往来

(1・2面) (3面)

(3面)

(3面)

令和5年(2023年)

旅団長統率方針「万事任務が基準」 旅団長要望事項「実力の進化」「地域との連携」



陸上自衛隊第14旅団広報紙

発行所:第14旅団司令部総務課広報班 住 所:香川県善通寺市南町2丁目1-1 話:0877-62-2311 (内2256・2257) メールアト レス: pr-14b-ma@inet.gsdf.mod.go.jp

※ 旅団演習に向け着々と準備を進める

8・9月 第183号



陸展に強迅域バ来領 機迅力 のサ

射撃練度評価(25m及び300m)

理解14旅団(旅団長 大場 関係では、第14旅団(旅団長 大場でを推進中である。 不演習は、陸上防衛力の 不演習は、陸上防衛力の に実施するものである。 「領域横断作戦能力の更なる「令和5 に実施するものである。 「領域横断作戦能力の強 「で、第14施設隊(隊長 佐藤欣央1等陸佐)、第14施設隊(隊長 佐藤欣央1等陸佐)、第15即応機動展開能力の強 「で、第14施設隊(隊団の 「で、第15即応機動展開能力の強 「で、第14施設隊(隊団の 「である。 「である。 「である。」 「である。 「である。」 「である。 「である。」 「である。 「である。」 「である。 「です。 「である。 「である。 「である。 「である。 「である。 「です。 「です。 「でする。 「です。 「でする。 「です。 「で



隊訓練の実施

第14後方支援隊

具部体と精体と 認務の実施を表すで をの所及分 た要開団団の関すり、

※段列とは、戦闘部隊に対し、補給や整備支援を行う地域





現地で指導を行う佐藤隊長 (写真:右)



コンテナの固定を行う隊員



た隊て習等(演検徳淵 訓 春中 (岡山県 は、徳 助応機動 を目前に連隊長い 実直に本文連施轄お原雄隊 え度本た旅訓 し小い演1

会まで練度向上の場として、 ををもとして関連を変に、 をもしては、一方をとして、 をもしては、一方を具体化し、更に、 をもしては、一方を具体化し、更に、 が、よいでは、一方を具体化し、では、 をもしては、一方を具体化し、では、 をもしては、一方をは、 をもしては、一方をは、 をもしては、一方をは、 をもしては、 をもしては、 をもしては、 をもしては、 をもしてがした。 をもしてがは、 をもしてがは、 をもしてがは、 をもした。 をうまとともに、 の更なともとに、 がは、 をの更なともとに、 の更なともに、 のでいる。 をうまに、 のでいる。 をうまに、 のでいる。 をうまに、 のでいる。 のでい。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでいる。 のでい。 のでい。 のでいる。 のでいる。 のでい。 のでいる。 のでい。 のでいる。 のでいる。 のでい。



による空砲射撃







構築班長による命令下達

各種事態に対応するために

桑野川で隊訓練の実施

を揮めるを大力及をである。。 を揮める種構下を会のである。。 での種類には、田正14 でのをである。。 でのをである。。 でのである。。 でのである。。 でのである。。 でのである。。 でのである。。 でのである。。 でのでありがでありが可にない。。 ではは、田河でものがでありが可にない。。 ではは、日本のではは、大力のではは、大力のではは、大力のではは、大力のではは、大力のではは、大力のではないでは、大力ので 向びる施り員ら屯県上指たし返は、の地隊 デーン舟な力る装 能ま4装にた輪

を実施し橋 (隊長



軽門橋の構築

命令下達



汚染地域の偵察



除染車による活動

第14特殊武器防護隊

年

度

隊

炎 天 下 5

訓練検閲を実施した。 | 演習場(愛媛県)にお| 下旬から8月上旬の間| 西原清隆3等陸佐)は| 西原清隆3等陸佐)は える炎天下 お間は隊 v て 小 7 隊 月 長 本

要よはた小望」「り隊 として、 調揮を関している。 開訣識あ実 隊の今年 の実践」な がの実践」な をせ長あ

大の目標である旅団演を成別を介護を評価した。
一様は、本小隊訓練を一様は、本小隊訓練権である旅団に、本小隊訓練権があるが、対化学活動を対象が、対化学活動を対象が、対化学活動を対象が、対した。 活動等に認する 団後検 検の関 閱練で

隊 訓 練 閲 0 実 結地での命令下達

 \mathcal{O}

練

を通



を実施した。 たたは小野

評と力は し性部揮練県い 3 価とに、そたを隊所をじば のをもつ至し。実置演事に野 つ至し をもつ至して け旅て距9 た団練離月 よ画作 の成射上 りの成隊 練す撃旬 度る能に

に臨む。 戦準備は完了にあることを強 回演習に参加で し確での



野第

取終準備を推進 旅団演習に立 野田怜2等陸4

進向佐(隊

システム通信群との協同訓練

第183号

の介、の1をび

そ

10

談体後3 に験に1

る善介

保隊通で

有員が駐

陸上自衛官という選択肢

い信

協要屯

`1

補佐

論は、

本

S監部装件 部通信電 の面通信電 部

電群 備

方

長(声降上草

幕僚

力望地岡

三事項には 1 佐は、

掲お、

駐て月

地誇りに

隊と行

務信わ

運頼れ

_ 8

屯

善通寺(朝霞) (朝霞) とが陸上 7駐屯地司会から第114年付で岡一 地司 に 着 低 団 形 務 部 長 し 長 し 長

た状令その発 たけ前初、 告舎後、 司 団令霊長部碑 受の司は巡令 旅視部 寸 対部献 の各の し課花 概部紹 着長を 任等行 要課介を等行 ののつ 申告を 把か事 握ら しの司

つ受舎当



司令部庁舎屋上において 駐屯地周辺の説明を受ける 岡1佐(写真:右)

司令部紹介行事 旅団長より紹介を受ける岡1佐 (写真:右)

日特日等司ね第

され将8洋駐団

補月

た同に11地兼 注充び要頼統任令 あ見駐家福 が実善望関をさ和福 守れ4元 付別付陸令て10 ŋ 一年 陸 で昇け佐 退任では福通副官さ陸、元寺旅

送屯族元れ発通事係 た。展寺項を ら地と陸 れ所共将 た。駐在に補 屯隊善は をの及を信伝着 地員通



司令部紹介行事において 記念品贈呈



駐屯地をあとにする 福元陸将補

陸 14 上 旅

幕僚

部

令部第2部

S 等 陸 佐



(陸上幕僚監部) 北徳島分屯地 池水

10

代副旅団長兼ねて善通

寺駐屯地司

補

退

地 司

第50普通科連隊

職種紹介で操縦展示を行う第14偵察隊の隊員

日)を行った。

一日)を行った。

一日)を行った。

志願者獲得に向け駐屯地を開放し自衛隊をPR

す 談 を り は た、 を興集実練る 凝味対際展装 らが象に示備 者体や等 が験説を 消自隊工 よ理す明駆 に解している。 う解 をなしない、 た対懇め く募

5

報

で募集」 ・ 自
リー・ ・ 専
エー・

広国キ地8

ンに月 報 (ンに月 の令グお 5

善 14



東部方

第

高所から降下する 第15即応機動連隊の隊員

隊員との懇談



野外電話機の説明を行う 第14通信隊の隊員



2等陸佐 (第14飛行隊長並 北徳島分野 分屯 福地重司

出

軚

令 和 5 年 8

2等陸佐 小澤 謙雄 第14旅団司令部第2部長) 方面総監部







警戒する隊員

日 付 1 2 0 mm 迫擊砲実射訓 練 ∭迫擊砲実射訓練

令

和

5

年

8

月

1

観測中の隊員

を刻むの夜間

じ間

Shikoku

夜間飛行

夜

5 演

ま

す

富 士

習

場で

合

練を

実 施

か2

第14情報隊

丘 **S** してる独立たで令によっておも立た。今日出生 P和5年度中出生台演習場細川香宣1等

FH70の射撃風景

班 全隊員の努力を弾先に集中させ

兀

玉

射撃の観測を行う隊員



一大学・ (大分県)において、 (大分県)において、 をしての射撃を検する をしての射撃を検する をは、8月上旬、1 をは、1 が実射検閲」を実施し がより来る強風が追り来る強風が追り来る強風が追り来る強風がもなく発生を表する。 本検閲において、後 本検閲において、後 本検閲において、の を関いたのが、1 を関いたのが、1 を関いたのが、1 を関いていく。。 戦、成場以外 全 上隊員が 各中隊 (しゅう 能とし、の更

訓団長

のてな

漕舟訓練 (地上訓練)

オートバイ積載(水上訓練)

第14偵察隊

にの等の偵

能て、 と舟事、長項 得へ・隊力、、長項る潜海はを海上のを海上の 能力とをきたがある。 向務問続せ潜を揮た 上をわきた入練のの し遂ず、。す成もち

察 を及察水ボ当図びボ路 の駐 組屯 等法を、路等際である。 立地 の練度向上では、 お 運い 搬て

なでた

はければ、対撃中に

な射隊

転に港会

的及町谷協た訓上作バ 事び)漁力。練で成イ いし地陸 るし



飛無立たの飛14訓習下清 行事ち準細行情練場旬博 かで報を か2

備かで報を

第14高射特科隊

下 2 旬等第 令和5年度 射にま陸14 訓おで佐高練いの)射 て間は特 「静令隊

旬野

回収される無人偵察機

(スキャンイーグル2)

等陸佐)は、令和5年7月下等陸佐)は、令和6年7月下ら8月上旬の間、東富士演習ら8月上旬のはと、飛行に向けたな指示のもと、飛行に向けたな指示のもと、飛行に向けたな指示のもと、飛行に向けた。 一種が成功した。 一種のとばりが下りるころ、無行を記述りが下りるころ、無行を指示する班長の地長が大りるころ、無行に向けた。 一種のとばりが下りるころ、無力とばりが下りるころ、無力とばりが下りるころ、無行に向けた。 一種のとばりが下りるころ、無力をが成功した。 一種のを間飛び立た。 一種のを間飛び立た。 一種のを間飛び立た。 一種のを間飛び立た。

11短SAMの射撃風景

淅

感

成の模等道北ん施かをした機に、千だしら核

対海ら太 模特けび射全S離 規射受及がる短距

寸 団(旬野等北か翔

目更 せ忘撃との皆安し「 功 指な第んれ成が1のはて初柵の する14 。る功出発支あ実の木成 。練高 、この来をえり射射が B 」この来をえり射射小果 をえがまに撃隊を をは果し射あし対小長 度射 の特 向科 つあはたすりたす 隊は 上隊 たりー。る最がる長、た をは、。ま生要こ高、不と 向科



弾薬搭載の様子



淅 感

第14飛行隊

第14飛行隊 3等陸曹 森本 早紀

本3曹です。私は、7月中旬、 佐多射撃場(鹿児島県)で実施 がありましたが、無事に訓撃 は、所望の命中率を達成することが出来ましたが、無事に別がら行う射撃でによる射撃引しながら行う射撃でによる射撃引しながら行う射撃ではよる射撃引きなりとでも悔しかったです。 とでも悔しかったが、実際に水平をを とでもりましたが、無事に訓練を は、たりは、たが、大の射撃でのドアガン射撃では、とても対しながら行う射撃であることが出来ました。 とでもりましたが、実際に水平のドアガン射撃では、とても難しく、射手として参加しました。 とでもりましたが、実際に水平のがら行う射撃、より とでも関しかったです。 とでも関しかったです。 け降年 下度今しこ回 りなその いら最省 で行終点する段を 射階練 撃で成 訓あし 練んで、 向昇来

初のドアガン射手として

訓

綀

ち臨実初 成練射

発電機手 1等陸士 杉山 晶浩

た献 最後もけ、最実 事任はあし輩は訓 出達電まま方ミ練 来成機しいにスに

特性に合わせた演各納涼行事等の

等の楽曲を披露した。の行進」「善・の子進」「善通寺ばやの行進」「善通寺ばやで演奏を行い「聖者がで演奏を行い「聖者がで演奏を行い「聖者の行進」がある。

善通寺まつりの様子

第 20

(支援助教) (支援助教) (支援助教)

程

3等陸曹河野悠希 第14後方支援隊

第110教育大隊長賞 3等陸曹河野・悠

第

15即応機動連

隊

等陸曹

坂 本

刀

42期初級陸曹特技課

団長賞

た。ともに、隊員家族ともに、隊員家族ともに、隊員家族ともに、隊員家族としたがのからない。

第14音楽隊

各駐屯地で開催された納涼行事を支援した。(高知県)、8月19日に松山駐屯地納涼祭(愛媛県)に善通寺まつり(香川県)、8月4日に高知駐屯地畑第14音楽隊(隊長 中福島昭洋2等陸尉)は、7月

第14旅団司令部付隊

(隊長 菅貴光3等陸 (隊長 菅貴光3等陸 特縦訓練を実施した。 神縦訓練を実施した。 香訓練は、隊の任務遂 令部に対する支援任務を 確実に遂行できるよう隊 の向上させることを目的 に向上させることを目的

等に車両操縦訓練は、 を有する旅団司令部付隊に とって重要な訓練であり、 とって重要な訓練であり、 に把握し、指導すること に把握し、指導すること におり、隊員自らに癖を 任務遂行に資するもので がある。 80万 万キ車 口両 はメート・ ル。た

800日を継続中(令和5月末現在)であり、引き続の機動力の根幹たる各種の車両操縦技量を向上させの車両操縦技量を向上させたのといるの機動力の根幹たる各種にある。 任 0 せ操続 5 経 0 、縦き年 務0、縦き年に万当手部8



指揮通信車の車両操縦訓練を行う隊員

部

部内・外表彰

納月 等凉22

42期初級陸曹特技課

第15即応機動連隊中部方面混成団長賞 3等陸曹

> 等陸 等陸士

> 中 柳西 田

第52回全日本青少年銃剣道大会

第4陸曹教育隊長賞

3等陸曹山下凌第15即応機動連隊

第50普通科連隊 年2部団体戦 陸 士 士 陸士長 第3 山 岡中田 飛海龍斗

軒屋駐屯地 警備支援

軒屋駐屯地 第15即応機動連隊 司令

8 にランドセルを購入しに行きました。お気に入りのおお友達を作っていろんなことも増えるけどたくさいが出しています。 小学生になったら大変なことも増えるけどたくさいがでしています。 にランドセルを背負って小学校に行くのを、すごく楽りンドセルを背負って小学校に行くのを、すごく楽り、 しょう います。 5月 います。

「来年は1年生」



第14高射特科隊 3等陸曹 岡﨑 宏冶

KEYMAN

見えない脅威の判別を行う。 第14特殊武器防護隊☆期待の星☆

一過動

ます。
として必要な知識及び技能を除染班、偵察班の指揮要として必要な知識及び技能程を終えた後、化学学校(程を終えた後、化学学校(で語る沖本3曹が印象的でした。「厳しいけれど、やりがいのある過酷な状況にも適応する創意と工動ができる強靭な体力・気力が必し、どれだけ暑くても防 隊要能 隊要能(大津) に有を終して (大津) 気献できるより得します。 工必防 会仕事です。」と、笑顔 上夫が必要になります。 必要であり、どのような が護衣等を着て対化学活 へ入校し、で3ケ月の きるよう よう日々鍛錬し、化学陸曹等し、化学陸曹等

沖本 拓己 (おきもと たくき) 3等陸曹

第14特殊武器防護隊

趣味:ツーリング 好きなスポーツ:バトミントン 好きな食べ物:焼肉

好きなタイプ:お互いの時間を大切にしてくれる人

陸上自衛隊 広報チャンネル



務剤

3しています。及び放射性物

角及び放射性物質等 情報陸曹として各種

の検

検知

知器

いますか

ない脅威に対応する化学科部であり、核兵器・生物兵器・化陸上自衛隊全体の1%に過 を当てていきます。 は、第14特殊武器防護 !学兵器などの目には見え!学兵器などの目には見え 隊に所属する沖本3曹にス 隊

陸上自衛隊広報チャンネル (YouTube) に

「陸上自衛隊の新時代」 (陸自広報用映像) を掲載中!



第14旅団

